

高等学校地理歴史科用教科書「詳述歴史総合『ユネスコ憲章の意義とは？人間の安全保障とは何か？』」実教出版 2023年1月25日刊を読む

ユネスコ憲章の意義とは？人間の安全保障とは何か？

1. 第二次世界大戦と戦後の取り組み

(1) ユネスコ憲章の意義とは？

- この大戦の後、前の世界大戦の後に戦争がおこるのを止められなかった教訓を生かしながら、戦争防止のために新たな努力がなされていきました。国際連合は、国際連盟よりも強力にそのためのしくみをつくりました。国連の専門機関であるユネスコの憲章には、戦争の原因についての有名な議論があります。
- 確かに有名な議論だね。これについてどう思うか、友達と話し合ってください。

ユネスコ(国産連合教育科学文化機関)憲章

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

相互の風習と生活を知らないことは、人類の歴史を通じて世界の諸人民の間に疑惑と不信をおこした共通の原因であり、この疑惑と不信のために、諸人民の不一致があまりにもしばしば戦争となった。

ここに終りを告げた恐るべき大戦争は、人間の尊厳・平等・相互の尊重という民主主義の原理を否認し、これらの原理の代わりに、無知と偏見を通じて人間と人種の不平等という協議をひろめることによって可能にされた戦争であった。

(「国際条約集」)

(2) 人間の安全保障とは何か？

- 自分たちを守るという安全保障についても、新しい見方が生じてきたことも重要だと思います。
- 「人間の安全保障」だね。この考え方が1990年代後半から世界にひろがっていくさいには、日本も大きな役割を演じたんだよ。
- 国連で「人間の安全保障」についての検討をした委員会の責任者の一人が、緒方貞子さんという日本人の方だったと知りました。緒方さんは1990年代に国連難民高等弁務官をつとめて、難民を助けるために大変な貢献をされた方ですね。戦争や暴力をなくして、平和をきづく人々の努力を追ってきて、緒方さんにたどりついて、うれしくなりました。

「人間の安全保障」

「人間の安全保障」とは人間の中核にある自由を守ることであり、「人間の安全保障」は人間自身に内在する強さと希望に拠って立ち、死活的かつ広範な脅威から人々を守ることを意味する。また、「人間の安全保障」は生存、生活および尊厳を確保するための基本的な条件を人々が得られるようなシステムを構築することでもある。さらに、「人間の安全保障」は「欠乏からの自由」、「恐怖からの自由」、あるいは自身のために行動する自由といったさまざまな自由を結びつける。

(人間の安全保障委員会最終報告書要旨)

- よく調べてきたね。それじゃあそろそろレポート書いてみよう！
- 暴力や平和について、どのような考え方がひろがってきたのだろうか。

<コメント>

開倫ユネスコ協会は 2021 年 1 月に「ユネスコ憲章」に基づき「人間の安全保障」の推進を基本理念に設立されました。高校の教科書「詳述歴史総合」(実教出版)でも紹介されています。しっかり学び活動を進めて参りましょう。

2026 年 2 月 25 日(水)